

2016年1月18日

「プラスチック製容器リサイクルによるアンモニア製造プロセス」が エコマークアワード 2015 銀賞を受賞

昭和電工株式会社（社長：市川 秀夫）は、当社川崎事業所の「プラスチック製容器リサイクルによるアンモニア製造プロセス」において、公益財団法人日本環境協会（以下、日本環境協会）が主催する「エコマークアワード 2015 銀賞」を受賞しました。



「エコマークアワード」は、日本環境協会が 2010 年に創設した表彰制度で、エコマーク商品をはじめとする環境配慮型商品の製造、販売あるいは普及啓発等により、同協会のエコマーク事業の目的である

「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に大きく寄与する取り組みをした企業・団体等を表彰するものです。

当社は、使用済みプラスチックをケミカルリサイクル手法（ガス化）により再商品化し、原料の一部としてアンモニアを製造しています。この一連のプロセスが、製造プロセスとして世界初の環境ラベルとして、2015年7月17日にエコマークを取得しました（注1）。アンモニアの原料である水素は、一般に石油系原料から製造する方法が主流ですが、本プロセスでは、使用済みプラスチックを熱分解によって水素を主体とする合成ガスに改質し、水素を取り出します。当社は2003年に本技術を導入し、現在、当社の液化アンモニア「エコアン®」の水素原料における使用済みプラスチック利用率は65%まで上昇しております（注2）。

「エコマークアワード」では、①高効率なリサイクルを実現した同プロセスの革新的な技術、②アンモニアは企業間取引商品（BtoB）でありながら、消費者の資源回収行動を新たな製品製造に結びつけている資源循環の良い取り組みである点、③工場見学で一般消費者も積極的に受け入れ、資源循環の認識を広めることに貢献している点、④製造プロセスとして初の認定であり、エコマークの新たな活用事例として今後さらなる環境配慮行動の促進が期待される点などを評価いただき、「銀賞」に選定されました。

当社は、当社グループの製品・技術が、地球環境やエネルギー・資源問題等の社会的課題の解決に貢献できるように事業を進めています。今後も、環境にやさしい製品および製造プロセスの開発を進め、持続可能な社会への貢献に努めてまいります。

以上

注1：2015年7月22日付 当社リリース「製造プロセスで世界初！ 昭和電工のアンモニア製造プロセスがエコマーク認定を取得」

注2：2015年7月1日付 当社リリース「液化アンモニア「エコアン®」、リサイクル原料の比率を拡大 — 使用済みプラスチック処理設備の増強完了 —」

◆本件に関するお問い合わせ先 広報室 03-5470-3235